令和３年６月８日

保護者の皆様

豊岡市立城崎中学校
校長　飯 塚　智 士

学習指導要領の改訂に伴う通知表などの評価の新観点について

初夏の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。平素は本校の教育推進にご理解とご協力をいただいていること、厚くお礼申し上げます。

さて、平成２９年３月に新学習指導要領が公示され、中学校では本年度から全面実施となりました。今回の改訂では、子どもたちが「何ができるようになるのか」という視点に立ち、各教科等の目標及び内容が「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の資質・能力に再整理され３つの柱になりました。それに伴い、評価の観点についても従来の４観点（国語は５観点）に代わり、下記のように「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の３観点で整理して示されました。

本校においても、新学習指導要領の趣旨を踏まえ、各教科を観点別に評価し、その評価の結果を総括するものとして５段階の評定を行います。

今後、子どもたち一人一人に新学習指導要領の内容が確実に定着するよう学習指導の改善に向けて取り組んでまいります。保護者の皆様には何卒、ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

１　新学習指導要領で育成を目指す資質・能力と評価例

⑴ 知識･技能･･････何を理解しているか、何ができるか

知識及び技能の習得状況に加え、それらを既有の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかについても評価します。

＜評価例＞ペーパーテスト、文章による説明、観察・実験、式やグラフでの表現　等

⑵ 思考・判断・表現･･････理解していること、できることをどう使うか

各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかを評価します。

＜評価例＞ペーパーテスト、論述やレポートの作成、発表、グループや学級における話合い、作品の制作や表現等の活動　等

⑶ 主体的に学習に取り組む態度･･････どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか

知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価します。

＜評価例＞ノートやレポート等における記述、授業中の発言、教師による行動観察、生徒による自己評価や相互評価　等